

# 給食だより

夏休み号

平成 30 年 7 月 9 日

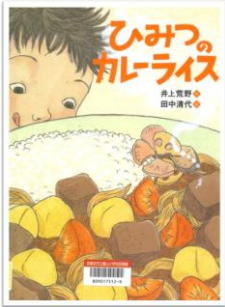


西東京市立碧山小学校  
栄養士 横張 泉

## おいしく食べて本を読もう

6月の読書旬間での、本とのコラボメニューの日に子供たちに配布した紹介文です。本の表紙と、給食写真とともにご紹介します。

18日(月) 『ひみつのカレーライス』 作：井上荒野 絵：田中清代 出版社：アリス館  
『すいかのたね』 作・絵 さとうわきこ 出版社：福音館書店



カレー大好き一家のぼくが、偶然見付けたカレーライスの種、庭に植えたら芽が出てどんどん大きくなって…? ちょっとレトロな画風の絵本に登場するのは昔ながらのカレーライスですが、せっかくなので給食室でもカレーをおいしくするひみつの野菜、トマトをプラスしました。

また、種つながりで、ばばあちゃんの豪快さが楽しい『すいかのたね』の絵本から「小玉すいか」を出しました。



20日(水) 『レンゲ畑のまんなかで』 作：富安陽子 絵：降矢奈々 出版社：あかね書房

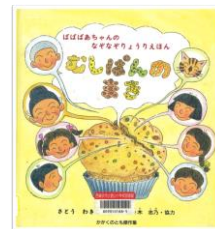


ハムコーントースト  
グリーンピースのポタージュ

小学校3年生の悦子がレンゲ畑で出会った少女「なつき」との秘密の時間の物語です。とても素敵なお話ですが、ひとつだけ気になったのが主人公の悦子が給食が大嫌いなこと。「給食なんてなくなってしまえばいいのに。」というセリフは物語のキーワードにもなり何度も登場します。悦子の苦手な食パンとグリーンピースのスープ、碧山小だったらおいしく作ってあげられるよ、という気持ちをこめて献立を考えました。

22日(金) 『ばばあちゃんのなぞなぞりょうりえほん むしばんのまき』 作・絵：さとうわきこ 出版社：福音館書店

自由なアイデア満載のばばあちゃんの料理シリーズより。「むしが入っているむしパンもあるよ〜。」と子供たちをおどかして「うそだーい。」と言われるばばあちゃんですが…? 食べてびっくりおいしい「だんごむしパン」、言葉遊びのユーモアが見事です。白玉団子を一つつ入れた給食の「抹茶だんごむしパン」は、かわいい、おいしい、おもしろい! と大騒ぎとなりました。



26日(火) 『チリとチリリうみのおはなし』 作・絵：どい かや 出版社：アリス館



可愛らしく細部まで描きこまれた絵が素敵な、チリとチリリのシリーズより。海のお散歩途中で見付けたカフェのスイーツ「なみのあわパフェまきがいふう」「うみのソーダーゼリーしんじゅクリームのみせ」は宝石のアクセサリに姿をかえます。この日の給食では、絵本の夢いっぱいのイメージを大切に、ぶどうとブルーベリーの宝石が入ったおしゃれなサイダーゼリーを作りました。

28日(木) ポテトコロッケ『11ぴきのねことあほうどり』 作：馬場のぼる 出版社：こぐま社

くいしんぼうの11ぴきのねこがコロッケ屋さんを開くお話です。たくさんのおじゃがいもを、ふかして、つぶして、丸めて、パン粉をつけて、油で揚げて…、コロッケづくりは本当に大変。この日は給食室で11ぴきのねこのかわりに600個以上のコロッケを作り、ねこの好きなおかかごはんと組み合わせました。

